



ぶどう特報 No2



2021年4月16日
JA 中野市営農センター
JA 中野市ぶどう部会

第1回 定期防除の実施適期です。発芽前に必ず散布しましょう。(詳細は特報 No1)

2月から高温で経過しており、生育が平年より7~10日前後進んでいる模様です。計画的に作業を進め、休眠期防除を遅れずに実施してください。病虫害防除は予防を基本としています。早め早めに薬剤散布を進めてください。

発芽予想日	巨峰 (2020)	巨峰 (2021)	シャイン (2020)	シャイン (2021)
	4月27日	4月20日頃?	5月1日	4月25日頃?

【第2回 定期防除】 カスミカメムシ対策

対象：シャインマスカット・クイーンルージュ®・ロザリオビアンコ・(混植園)

散布時期	発芽直後 (4月末~5月初旬頃) ※散布タイミングは注意事項欄・写真を参照	散布日	月 日
散布薬剤	水 展着剤(ハイテンパワー) モスピラン顆粒水溶剤 (劇)	100 L 10 ml 50 g	(14日前・3回以内)
散布量	300L / 10a		
適用病虫害	ツマグロアオカスミカメ・カイガラムシ類・アザミウマ類		
注意事項	① 訪花昆虫に影響があるため、畦畔の草刈りを実施し、早朝の散布を厳守する。 ② 被害が甚大な場合はモスピランに代えてスミチオン水和剤40 1,000倍(21日前、2回)を散布する。 なお、スミチオンを使用する場合は、訪花昆虫保護のため開花期を迎えている隣接園への飛散防止対策を必ず講じ、早朝の散布を厳守する。 ③ 園内の3割以上が右の写真のようになったタイミングが適期 ⇒ ⇒ ⇒		



【第3回 定期散布】 黒とう病対策

対象：シャインマスカット・クイーンルージュ®・(混植園)

散布時期	展葉2~3枚頃 (5月上旬頃) ※散布タイミングは注意事項欄・写真を参照	散布日	月 日
散布薬剤	水 展着剤(ハイテンパワー) オンリーワンフロアブル ダイアジノン水和剤34 (劇)	100 L 10 ml 50 ml 100 g	(前日・3回以内) (30日前・2回以内)
散布量	300L / 10a		
適用病虫害	黒とう病・うどんこ病・晩腐病・クワコナカイガラムシ若齢幼虫・(ツマグロアオカスミカメ)		
注意事項	① べと病が心配な場合はオンリーワン®に代えてキノンドー顆粒水和剤1,000倍(45日前、4回(開花後は1回))を散布する。ビニールや家屋への飛散には注意。 ② 園内の3割以上が右の写真のようになったタイミングが適期 ⇒ ⇒ ⇒		

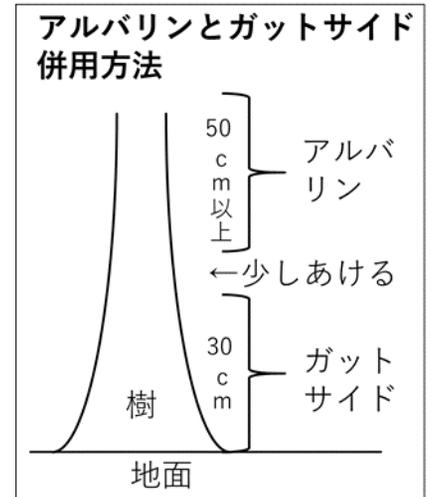


※※注意※※ 薬剤飛散(ドリフト)による事故が発生しています!!
隣接園の農作物には飛散しない様にSS操作の確認や防除ネット設置などの対策を講じてください。

裏面もご覧ください。特別防除アルバリン塗布、春の枝管理 を記載しています。

【特別防除 樹幹塗布】 コナカイガラムシ類対策

塗布時期	5月初頭	塗布日	月 日
塗布薬剤	水 アルバリン顆粒水溶剤 ※ 水：アルバリン = 1：1 で調合	20 ml 20 ml	(幼果期まで・塗布1回)
塗布量(目安)	1樹あたり20～40ml 直径10cm以上の樹で薬液20ml、直径20cm以上の樹で薬液40mlを目安		
適用病害虫	コナカイガラムシ類・(クビアカスカシバ)		
注意事項	<p>① クビアカスカシバの被害が多い場合は、6月初頭にこの方法を実施する。(塗布による防除は1回しかできないため注意)</p> <p>② ガットサイドを塗布した場合はアルバリンを右図の位置に塗布する(重ね塗りしない・混用して塗り付けない)</p> <p>【塗布方法】</p> <p>① 塗布する箇所を50cm程度、粗皮削りする。 ※乳白色で水が垂れると樹の肉をそいでしまっているため注意</p> <p>② 薬液を塗る際はハケをたてて泡を立てるように塗りつける。 ※習字のように毛先を寝かせて塗ると薬液が流れやすい</p> <p>③ 晴天日が塗布後に2～3日続く日をねらって実施する(流亡防止)</p>		



～ 生育状況・管理について ～

◆ 短梢仕立ての芽かきについて



※5月上～中旬に講習会を実施予定(後日、別途通知します)

【目的】 1樹全体の新梢の生育(枝ぶり)を揃える

⇒今後の管理(特にジベ処理)が揃う

【時期】 ①発芽後～展葉初期 ②展葉3～4枚目頃 ③誘引しながら

※生育状況(枝ぶり・花穂の有無など)を確認しながら適宜実施
(←写真：シャインマスカット短梢仕立て 展葉5～7枚目頃の様子)

- ・ 1芽座に1新梢、芽座および新梢の間隔15～20cm
- ・ できるだけ主枝に近い芽を残すことを意識して実施

◆ 苗木・若木の管理について

- ① かん水：たっぷりとかん水する。好天日が続く場合はかん水の頻度を増やす。根域の土壌を乾燥させない。
- ② 芽かき：伸長のよい新梢を2本程度残し、必要のない芽は欠く。(1本は予備の枝とする)
- ③ 誘引：残した新梢がまっすぐ健全に伸びるように・折れないように、適宜、新梢を支柱に誘引する。

次回特報配布予定：4月28日(水)